

# 11月の園だより

## 《園長の言葉》

平成30年度 竜光保育園 第641号

空気が澄み星のきらめきが一層際立って見える季節となりました。周辺の赤や黄色のカラフルな葉っぱも、秋から冬への移り変わりを教えてくれているようです。さて、昨今、子どもの文章力・読解力が低下していると聞きます。その一因として、SNS等の普及に伴う短文でのコミュニケーション(伝達)が若者の間で急速に広がり、長文を読んだり書いたりする機会が減っているからだと言われていると専門家は指摘しています。対して、近年企業の採用試験や入試等において論述形式が増えていますが、その際の文章の多くに、読むに耐えないような文章が羅列されている事が数多くあるそうです。保護者の皆様はまだ先の話だと思われるかもしれませんが、私が再三「コミュニケーション能力の大切さ」について園だより等で述べていますが、正にそれに最も関わってくるのが【文章力・読解力】そして、その元となる【言語能力】であると思います。さらにその言語能力の土台となっているのが、幼少期における保護者の「思いのこもった言葉」だと理解しています。

言語学者の金田一 秀穂氏は、「子どもが2歳くらいで、誰に教えられたわけでもなく急に言葉を話し始めるのは、母親の心のこもった音声言語を日々聞いているからです。母親は赤ちゃんが言葉を理解できないことが分かっているにもかかわらず、一生懸命話しかけますよね。これは、すごく愛情のこもった言葉なのです。」と述べています。「どうせまだ、話しかけても分からないし…」と思うのは間違いで、赤ちゃんの頃からたっぷり愛情を持って子どもに話しかける事で、子どもの言語能力は大きく発達するのだそうです。(※少し前の園便りに「おむつ替えの際の言葉かけ」の大切さについても述べさせていただきましたが…)結果、言語能力に優れた子どもが、文章力や読解力にも秀でた子どもに成長していく事になるのでしょうか。そしてさらに効果的なものが【本の読み聞かせ】で、ある程度文字が読めるようになれば一方的ではなく、演劇のように親子で交互に台詞を読み合う方法にトライするのも良いのだと聞きます。親子劇とも言えるその読み聞かせは、言語能力の向上のみならず、親子間のコミュニケーションや情緒の安定、知的好奇心や創造力や表現力・共感力のトレーニング等その効用には枚挙に暇がありません。その読み聞かせの習慣が、いずれは自発的な読書習慣へと導かれ、子どもたちが将来的にあらゆる方向性を模索することができる大切な経験や知識として自身に寄与する事となるはずですよ。

## ギラヴァンツ北九州 サッカー教室

## 《先生の広場》 vol.19 ひらい ゆの 先生

## 11月の行事予定

- 1日(木) 新道寺小学校おもちゃフェスティバル(さくら組参加)
- 13日(火) 体操教室
- 15日(木) 誕生会
- 16日(金) 身体測定
- 19日(月) } 生活発表会リハーサル
- 20日(火) }
- 中旬 焼き芋会
- 中旬 勤労感謝の日訪問(以上児)
- 下旬 避難訓練



### ☆Q.1. 趣味は?

A. テニスが好きで今は“バウンドテニス”という室内スポーツを楽しんでいます。調子が良いと、東京での全国大会にも出場することがあります。(笑い☺)

### ☆Q.2. 一度行ってみたい国は?

A. 海外に行った事がないので、まずは“ハワイ”に行ってみたいです。

### ☆Q.3. 保育士になって良かったことは?

A. 子どもたちの可愛らしい姿や成長を側で感じられる事です。子どもたちと一喜一憂し、一緒に成長できる事がうれしいです。



## ☆12月1日(土)生活発表会

## 東谷フェスティバルでの展示



## 祥子先生の書道教室



## ～菜園での芋掘り～



## おすすめ絵本のコーナー

### 「おおきくなるっていうことは」

作:中川 ひろたか 絵:村上 康成 出版社: 童心社

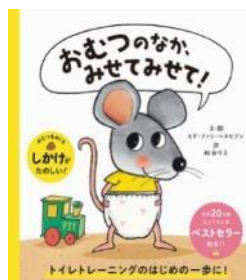
成長について「身体」や「考える力」、「好奇心」、「やさしい心」などにいたるまで、子どもたちにもわかりやすく読むことができる絵本です。お誕生日や進級の時などにお薦めで、読むたびに親子で新しい発見があると思いますよ。



### 「おむつのなか、みせてみせて!」

文・絵:ヒド・ファン・ヘネヒテン 訳:松永 りえ 出版社:パイ インターナショナル

欧州で人気の絵本作家が描くとても愛らしくユーモラスなしかけ絵本です。おむつをはいた知りたがりのねずみくんが主人公で、子どもたちが喜ぶ“うんち”もたくさんでてきます。トイレトレーニングのスタートには是非とも!



《リンゴ狩り》